

有田市市制施行70周年記念式典

昭和29年9月に、箕島町、保田村、宮原村、糸我村が合併して有田町となりました。そして2年後の昭和31年5月、市制を施行し、有田市が誕生しました。まちの文化や歴史、伝統をつなぎながら発展してきた有田市。記念式典では、これまでの歩みを振り返るとともに、有田市の魅力や価値を改めて見つめ直し、新たな一歩を踏み出しました。



5月2日、有田市市制施行70周年記念式典を執り行いました。市民や来賓など約600人が出席し、有田市の節目を祝いました。式典の第一部では、玉木市長の式辞や来賓からの祝辞が述べられました。また、記念映像で有田市のこれまでの歩みを振り返り、70年の歴史を再確認しました。

第二部では、永年にわたり市政の発展に尽くされた方々に対する功労者を表彰。その後、園児による「みかんの花咲く丘」の歌の発表と、会場の皆さんも参加して行った手遊びで、会場は温かい空気に包まれました。

また、「世界農業遺産PR」では、世界農業遺産認定を記念して製作した、オリジナル絵柄入りのナンバープレートをお披露目。ナンバープレートのデザインは、有田市出身の絵本作家の宮本和明氏が行い、制作に込めた思いなどをお話しいただきました。

そして、有和中学校の尾藤海音さんと大峯 琉仁さんによる「未来宣言」では、「有田市の進化し続ける姿勢や長年受け継がれてきた文化、家族のように温かい地域の絆を大切に、『伝統と人とのつながり』をこれからもつないでいきたい。私たちは自らの手で、有田市の新しい歴史を切り拓いていく。」と力強く宣言してくれました。

記念式典後には、市制施行50周年当時に作成したタイムカプセルの開封式を実施。タイムカプセルには、当時の年長児や小中学生の作文・絵画のほか、広報ありだや新聞などが取られていました。開封式には約80人が参加し、20年前にタイムカプセルを閉じた小林依里さんが市長と一緒に開封しました。自分の作品を受け取った皆さんは、お互いに内容を読み合ったり、思い出話に花を咲かせていました。

※ナンバープレートの詳細は7ページをご覧ください。



記念式典で上映した「有田市70年の歩み」については、有田市公式YouTubeでご覧いただけます。

有田市の好きなところ
市民の皆さんにお聞きしました！

人が温かい

思い出が
たくさんある
大切な場所
水が美味しい！
地域の人の
つながりがある
安心して暮らせる場所
子育て支援の
スマイルチケットが
ありがたい！
自然豊かだからこそ
できる子育てや
遊びがある



市制施行70周年
主な記念事業

「有田市指定の文化財」

9月19日(土) 郷土資料館特別展

紀文まつりみかん収穫祭&
市民参加ミュージカル
10月24日(土)、25日(日)

2027有田みかん海道マラソン
令和9年2月予定